

1 とちぎの産業躍進プロジェクト

1 プロジェクトの概要

(1) 目標

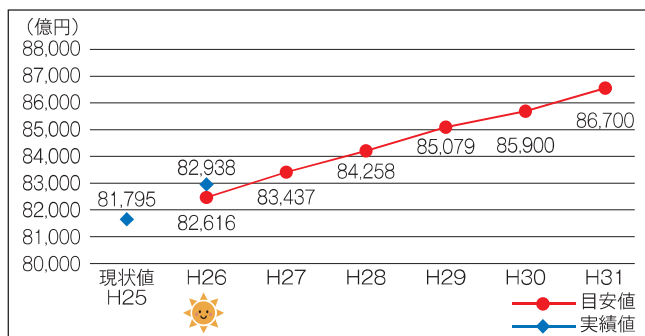
- 本県の強みである重点5分野（自動車・航空宇宙・医療機器・光・環境産業）など製造業の産業集積を生かした成長と、時代の潮流をとらえた新たな産業の創出、更なる企業立地を促し、本県経済の活性化を図ります。

(2) 重点的取組

- ☆ ものづくり産業の更なる発展
- ☆ フードバレーとちぎの推進
- ☆ 新たな成長産業の創出・育成
- ☆ 立地環境を生かした企業誘致の推進

2 プロジェクトの進捗を表す成果指標等の状況

① 製造品出荷額等



② 企業立地件数

	現状値 H22-26	H27	H28 (H28)	H29 (H28-29)	H30 (H28-30)	H31 (H28-31)	目標値 H28-32
目安値	(累計)	—	30件	60件	105件	150件	180件
実績値	170件	41件	30件				

—

(注)達成見込の判断



概ね順調



やや遅れている



遅れている

○成果指標の分析

- ① 製造品出荷額等は、増加傾向にあるが、平成26年の全国順位は前年より1つ下がり13位となっている。なお、平成27年の実績値は平成29年10月公表予定である。
- ② 企業立地件数は、製造業等の29件に研究所の1件を含めて30件となっており、目標達成に向けて概ね順調である。

3 県民満足度調査の結果

	H28	H29	H30	H31	H32
満足・やや満足の割合	34.4%	30.9%			
やや不満・不満の割合	11.1%	11.7%			

4 主な取組成果

◎ ものづくり産業の更なる発展

▷ 新たなイノベーションの創出、先端ものづくり産業の人材育成や研究開発等への支援

○ 新技術開発や基盤技術の高度化等への支援によるイノベーションの創出

- ・ 大手企業の協力による現場改善支援事業や新卒者採用の円滑化に向けた企業概要説明会の開催
- ・ 北関東三県が連携して開催する大手自動車メーカーでの技術交流展示会や大規模展示会への県内企業の出展支援
- ・ ものづくり技術強化補助金による中小企業者等が行う研究開発の支援
- ・ 北関東三県連携によるデジタルものづくりに関する技術開発及び人材育成の支援

☆ 航空機産業を中心とした先端ものづくり産業への戦略的な支援

- ・ 産業技術センターの機器整備等による航空機産業関連企業の技術高度化支援
- ・ 先端ものづくり産業における製品の付加価値化に関する研究開発等への助成
- ・ 航空機産業高度人材を育成するための講座の実施
- ・ ものづくり企業ガイドブックによる販路開拓と人材確保の推進

◎ フードバレーとちぎの推進

▷ 食品関連産業における産官学金連携による意欲的な取組等への支援

○ とちぎの食のブランド確立に向けた新製品・新技術の開発や販路開拓への支援

- ・ 本県の農産物を活用した加工食品や機能性表示食品制度の活用等による付加価値の高い商品の開発や東京圏における販路開拓の支援
- ・ 6次産業化の推進に向けた農産加工や商品開発、販路拡大に取り組む生産組織等に対する支援
- ・ 農業団体等が行う海外での販促活動や、シンガポール国際見本市Food JAPAN2016への出展等の支援

☆ 食品関連産業と農業や観光関連産業等との連携強化

- ・ 本県の代表的な農畜産物を活用した商品の開発及び販路開拓の支援
- ・ 地域資源生産者（農林水産物・鉱工業品生産者）とサービス提供者（ホテル・旅館・飲食店・販売店）等との連携による新たな商品やサービスの開発等の支援

◎ 新たな成長産業の創出・育成

▷ 成長する新産業・新分野の創出

☆ ヘルスケア関連産業やロボット関連産業の創出・育成

- ・「とちぎヘルスケア産業フォーラム」の設立、キックオフセミナー・交流会及びフォーラム分科会の開催
- ・「とちぎロボットフォーラム」の設立、キックオフシンポジウム・交流会及びフォーラム分科会の開催

☆環境エネルギー産業の成長促進

- ・国内最大級の内陸型天然ガス火力発電所事業の開始
- ・エネルギー産業立地促進補助金の創設と当該制度を活用しての企業誘致の推進
- ・再生可能エネルギーの一つである地熱エネルギーの理解を促進するためのセミナーの開催や意欲ある事業者に対する支援
- ・市町、産業団地内の既立地企業の理解促進によるリサイクル施設の立地の促進

◎ 立地環境を生かした企業誘致の推進

▷企業誘致の推進

☆栃木県企業誘致・県産品販売推進本部等による誘致活動の推進

- ・知事のトップセールス等による誘致活動の展開
- ・企業誘致プロジェクトチームやとちぎ企業立地推進戦略会議等による連携した取組
- ・各種メディアや展示会を活用したPR活動の展開及びダイレクトメールや金融機関等からの情報を基にした企業訪問を行う等、関係部局や地元市町等と連携した積極的な企業誘致活動の推進

☆面積要件の緩和など新規立地企業に対する助成制度の拡充

- ・県内産業団地等への企業立地に対する助成の拡充

☆本県へ本社機能や研究所を移転する企業への支援

- ・地域再生計画「とちぎ本社機能立地促進プロジェクト」及び栃木県地方活力向上地域における県税の不均一課税に関する条例による誘致の推進
- ・本社機能等の設置に係る賃借料等に対する助成

▷立地企業の定着

☆立地企業の定着に向けた助成制度の充実

- ・県内立地企業の定着促進のための助成の拡充（補助対象に大規模生産設備投資を追加、対象業種に物流業を追加等）

☆意見交換や訪問活動を通じた企業との関係性の強化

- ・栃木県工業団地管理連絡協議会等との意見交換会の実施
- ・とちぎパートナーシップ事業による立地企業への訪問活動の展開

▷産業団地の提供及び立地環境の向上

☆企業ニーズを踏まえた計画的な産業団地の整備

- ・市町と連携した企業ニーズを踏まえた産業団地の整備促進
- ・野木第二工業団地（野木町）の土地開発公社における造成の着手及び第1期予約分譲の実施

- ・産業未来基地[®]とちぎ中央（みぶ羽生田産業団地）（壬生町）の立地企業との協定に基づく造成・分譲の推進及び円滑な操業の支援
- ・あがた駅南産業団地（足利市）の造成の推進及び第1期予約分譲の実施
- ・新規産業団地の開発構想がある市町に対する関係機関と連携した事業化に向けた指導・助言

○アクセス道路等の整備やスマートIC設置促進

- ・鬼怒川左岸地域における産業拠点の交流と物流の強化を図るための国道408号バイパスの整備推進
- ・産業未来基地[®]とちぎ中央（みぶ羽生田産業団地）へのアクセス向上と物流強化を図るための県道羽生田上蒲生線の整備推進
- ・高速道路機能を高めるためのスマートICの設置促進

5 課題

☆＜県内企業のIoT等活用促進＞

県内企業からIoT等の革新的なものづくり手法の導入に関心が高いことが示されている中、国においては、地域未来投資促進法や地方版IoT推進ラボ等により中小企業におけるIoT導入等について重点的に支援する仕組みづくりに取り組んでいます。本県においても、こうした動きを的確にとらえ、製造品出荷額等の増加はもとより本県企業の競争力強化が図れるよう、本県企業によるIoT等の活用の支援に早期に取り組む必要があります。

☆＜県内企業の人材確保・育成＞

県内企業の人手不足による事業展開への影響や、企業誘致における立地先の選定の際に人材の確保を重視する企業のニーズへの対応が困難になることが懸念されることから、新規立地企業を含む県内企業が必要な人材を確保できるよう、関係機関との連携を図り、人材確保のための取組を強化する必要があります。

また、全国でも有数のものづくり県である本県の産業を支える技能者の裾野の拡大を図るため、技能五輪全国大会の開催を契機に高まった技能レベルや技能尊重気運、及び次世代人材育成等の取組をレガシーとして継承していく必要があります。